

行政報告の主な内容（8課15項目）

- (1) 総務課
 - ・ 上富良野町長選挙
 - ・ 中央要望
 - ・ 表彰式
 - ・ 中越地震被災者への対応
- (2) 行政改革推進事務局
 - ・ 行財政改革実施計画の策定
- (3) 企画財政課
 - ・ 地方分権推進総決起大会
 - ・ 自衛隊関連行事
 - ・ 平成16年度予算要望運動
- (4) 産業振興課
 - ・ 農作物生産状況
- (5) 保健福祉課
 - ・ 保健福祉総合センターオープン、利用状況
- (6) ラベンダーハイツ
 - ・ サテライトディサービスの廃止
- (7) 教育振興課
 - ・ パークゴルフ場の利用状況
 - ・ 総合文化祭
- (8) 町立病院
 - ・ 町立病院勤務医師の異動
- (9) 総務課
 - ・ 建設工事発注状況

行政報告

(平成16年12月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第4回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る9月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告)

まず初めに、わたくし、11月28日に執行の上富良野町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ多くの方々から心温まるご厚情と力強いご支援を賜り、引き続き3期目の町政の重責を担わせていただくこととなりました。

大変厳しい選挙ではありましたが、私が従来から取り組んで参りました行財政改革につきまして、今日の国、地方を取り巻く極めて厳しい行財政環境の下で、引き続き、更なる行財政改革に向けて推進して行くことで町民の方々の信任が得られたのものと考えております。

町民皆様から寄せられました信頼と期待に応えるため、また、ご批判も謙虚に受け止め、新たな決意と情熱をもって、我が郷土のまちづくりのために、誠心誠意全力を尽くして参る所存でございます。

どうか今後とも議員各位並びに町民皆さんの変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、この場をお借りいたしましてお願いを申し上げる次第であります。

次に、11月30日から12月3日にかけて上京して、全国観光地所在町村協議会総会、その後東京ふらの会総会、翌日の2日には全国町村長大会に、それぞれ出席し、また、3日には北海道における自衛隊削減の見直しを求める中央要望結団式に参加し、防衛庁、財務省、衆参の国会議員、自

民党本部など関係機関に要望運動を行ってまいりました。

次に、11月3日、平成16年度の町表彰式を新設間もない保健福祉総合センターで挙行いたしました。菅野学名誉町民をはじめ多くの皆様のご列席をいただき、町の関係では、社会貢献賞9名、善行表彰3団体と4名、勤続表彰2名、国保優良家庭4名の表彰をさせていただき、さらに感謝状を1名と1団体に贈呈をいたしました。

また、教育委員会関係では、スポーツ功労賞4名、スポーツ奨励賞2団体と14名、科学技術奨励賞1名、特別教育賞1名の表彰をしたところがあります。

次に、新潟県で発生いたしました中越地震被災者への対応であります。上川支庁管内町村会におきまして、お見舞いについての対応が協議され、1町村10万円をお見舞いとして送ることで決定しまして、管内20町村分200万円を町村会で積立しておりました財政調整基金より支出しまして、お見舞いとして送ったところがあります。

このことから各町村個々には対応はしないことで申し合せたところがあります。

(企画調整課行政報告)

次に、行財政改革実施計画については、今春策定しました「新行財政改革基本方針」に基づき、平成16年度から20年度までの5年間の計画期間とし、9月30日に策定いたしました。

同計画の策定にあたっては、行財政改革推進町民会議で議論いただくとともに、計画案に対するパブリック・コメントを実施しながら、策定したところがあります。

議員各位へは、同計画を既にお配りしたところありますが、今後ます

ます厳しさが予想される行財政環境にあつて、計画の着実な推進に、ご理解とご協力をお願いいたします。

次に 11 月 17 日、地方 6 団体が東京で開催した地方分権推進総決起大会に助役が多くの自治体と共に出席したので報告いたします。

ここでは、国が三位一体改革の全体像を取りまとめるのにあたり、真の地方分権改革の推進を目指し、地方 6 団体がまとめた改革案を確実に盛り込むことを求める集会であります。

この場で、改めて補助金改革と税源委譲を一体的、確実に実施することや、地方交付税による確実な財源調整など 5 項目にわたる緊急決議を行ったところであります。

次に自衛隊関係であります。9 月 26 日上富良野多田弾薬支処創立 48 周年記念祝賀会が「プラザ・トミヤマ」で、歴代支処長はじめ多数のご来賓、町民とともにお祝いをしたところあります。

また、富良野地方自衛隊協力会及び上富良野町を代表して祝辞をのべたところあります。

次に 10 月 9 日北部方面後方支援連隊創隊 4 周年記念行事、10 月 17 日北部方面 52 周年記念行事にそれぞれ出席し、また、11 月 7 日防衛庁・自衛隊 50 周年記念が陸上自衛隊朝霞訓練場にて内閣総理大臣出席のもと多数のご来賓、招待者とともにお祝いをいたしましたところあります。

11 月 7 日自衛隊旭川地方連絡部創立 48 周年記念祝賀会が旭川市のロイヤルマリエ ベルフォーレで開催され、助役が富良野地方自衛隊協力会及び上富良野町を代表して多数のご来賓、市民とともにお祝いをしたところあります。

次に11月25日から26日にかけて平成17年度の基地関係・基地交付金・防衛施設周辺整備等に関する中央要望として、助役が全道61市町村を代表し北海道基地協議会役員とともに総務省・財務省・防衛庁に基地所在地等による行財政上の果たすべき役割は、ますます大きくなりつつあり、基地所在地等の負担を補うためにも、基地関係予算の要求を行ってきたところでもあります。

次に新防衛大綱策定に伴い北海道における自衛隊削減に係る要望運動を11月11日、12月3日の2回にわたり自民党、公明党、防衛庁、財務省に駐屯地所在する市町村長と自衛隊削減反対要望運動を行ってきたところでもあります。

また、12月6日札幌市において道内の自治体や経済団体など道内各地より1,600名の道民の皆様が参加をし、北海道における自衛隊削減に反対する総決起大会が行われ上富良野町からも、80名の町民参加のもと出席したところです。

このことについては、本町の経済基盤や自然災害の救助活動などの町づくりに多大な影響がでることから強力に今後も関係団体と協議をしながら削減反対運動を行ってまいります。

(産業振興課行政報告)

次に、農業関係であります。今年の農作物の生育状況については、5月に入ってから降雨の日が続き、は種作業等は遅れ気味で経過いたしておりましたが、6月に入り、好天が続き生育の遅れを取り戻していると聞きおよんでおりましたが、全般的に記録的な高温続きで、生育の進み過ぎによる収穫量の減収、また、台風18号による倒伏、脱粒等の被害が発生したところでもあります。

ここに改めて台風 18 号等で被害を受けられた農業者の皆さまに対し、心よりお見舞申し上げます。

また、水稻においては、高温により登熟度が進み、収穫作業は早まったものの、茎数は平年を下回り、収穫減となったところであります。畑作物においては、平年作を上回る秋まき小麦等一部の作物を除き、ビート、玉ねぎ等は高温、少雨から生育は抑制傾向にあり、収穫減につながるものと心配しております。

馬鈴薯、ビートなど最終の状況には至っておりませんが、台風 18 号により被害を受けた農業者に対し、希望に応じ、次年度以降の再生産のための資金融資等の支援を行なってまいります。

（社会教育課行政報告）

次に、本年度のパークゴルフ場の利用状況であります。連日町民の皆さんをはじめ、近隣市町村からも愛好者が訪れ、4月24日から11月7日までの198日間で37,869名、1日平均191名の方々にプレーを楽しんでいただき、閉鎖したところであります。

次に、第41回を迎えました町総合文化祭についてであります。10月29日から31日までの3日間、社会教育総合センターを会場に開催をしたところであります。

日頃の文化活動の発表の場として、文化連盟をはじめ多くの皆様の作品展示や芸能発表などが行われました。期間中2,827人の町民の参加をいただき盛会のうちに終了することができました。

（保健福祉課行政報告）

次に、健康づくりと福祉活動の拠点施設として平成 15 年度、16 年度の 2 カ年計画で建設を進めてまいりました保健福祉総合センター「かみん」

についてであります。9月末に工事が完成し施設の引渡しを受け、その後1ヶ月間、町民への施設見学会や物品の搬入、備え付け、事務所の移転等開所に向けた諸準備を進め、11月1日にオープンいたしましたところであります。

オープンしてから1ヶ月余りが経過いたしました。11月分の利用状況につきましては、健康遊浴施設のプール・浴室関係が水中運動教室参加者、一般利用者合わせて1,985名、多目的ホールの利用が各種行事や介護予防教室などで1,636名、各団体の会議、研修会利用が896名など施設全体で5,690名、1日平均190名のご利用をいただいている状況にあります。

今後も本施設の機能を効率的に活用して、多くの町民の方々が利用していただけるよう施設運営に意をそそいでまいります。

(ラベンダーハイツ行政報告)

次に、デイサービス事業についてですが、今後、益々高齢化が進み在宅サービスの需要が見込まれますことから11月1日から保健福祉総合センター内に新たに民間法人の運営により、デイサービス「かみん」が開設されました。

このことによりまして、ラベンダーハイツで運営しておりました草分、富原、島津地区のサテライト事業を10月31日をもって廃止したところであります。

今後のデイサービスにつきましては、「ラベンダーハイツ」と「かみん」の2箇所を実施し、ラベンダーハイツでは一日のサービス時間を従来の5時間30分から1時間延長し、6時間30分の提供時間として在宅サービスの充実を図ったところであります。

新しい体制につきましては、サテライト事業対象者も含め今までご利用頂いておりました、利用者の皆様のご理解と各事業所のケアマネージャの協力を得まして、スムーズに移行したものと考えているところであります。

11月の1日平均の利用者につきましては、「ラベンダーハイツ」で15名、「かみん」で18名の方にご利用を頂き、従前と比較して16名の利用増となっており、双方とも当初見込みより多くの方にご利用を頂いているところであります。

今後におきましても、より一層、高齢者の在宅サービスの充実に努めてまいります。

（総務課行政報告）

次に、町立病院勤務医師の異動についてであります。平成13年10月から勤務をしていました田中内科医長（40歳）には、クリニックの開業をするとのことから8月末を以って退職することとなりました。

後任の医師につきましては10月まで待たなければならない状況のなか、町民の診療に支障の無いよう、院長はじめ残りの医師及び旭川医科大学の協力をいただきながら2ヶ月の間、診療に努めて参りましたところ、10月1日付けで櫻井 忍医師（36歳）を内科医長として勤務をお願いすることとなりました。

（総務課行政報告）

最後に、建設工事の発注状況であります。9月定例議会に報告以降で入札執行した建設工事は、11月19日現在で6件、事業費総額7,688万6,250円となっており、本年度累計では、37件、事業費総額5億7,078万5,250円となっております。

なお、お手元に「平成 16 年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。

以上をもちまして、行政報告といたします。